

経営比較分析表（令和2年度決算）

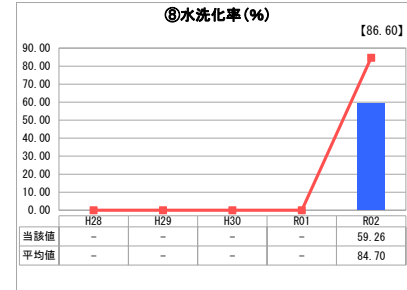
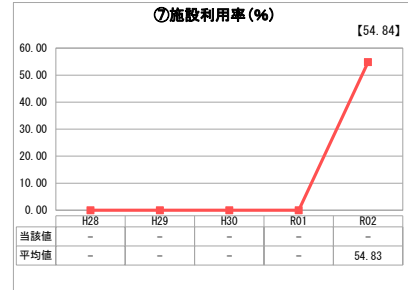
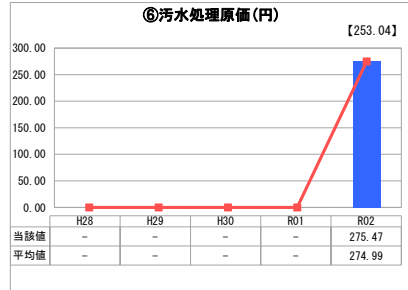
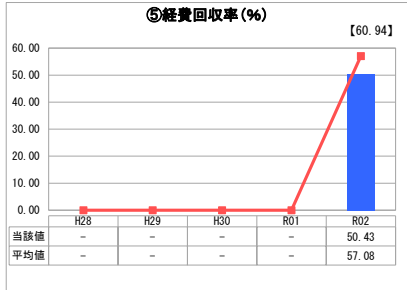
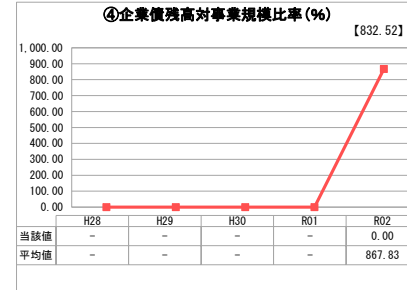
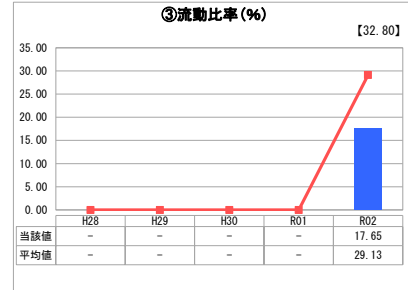
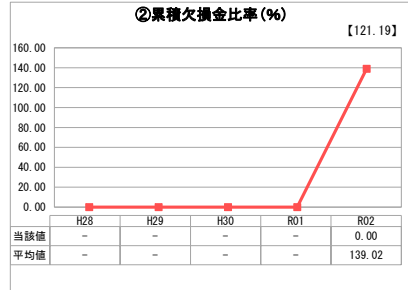
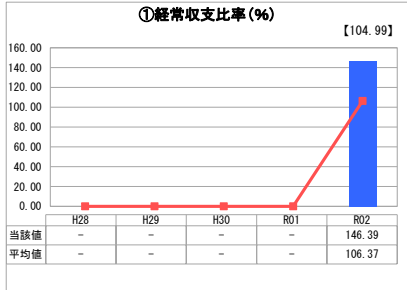
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	△15.64	0.87	76.36	2,860

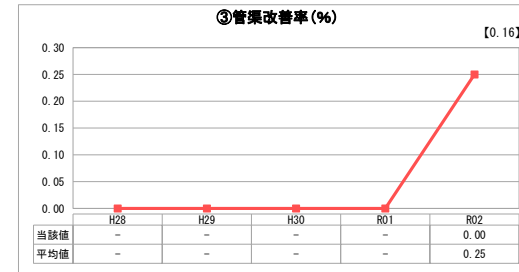
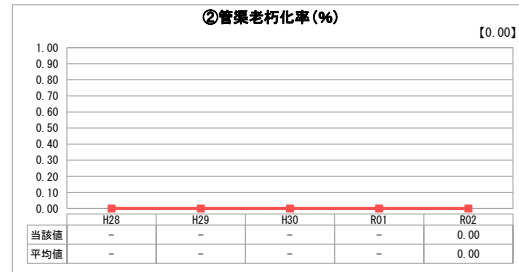
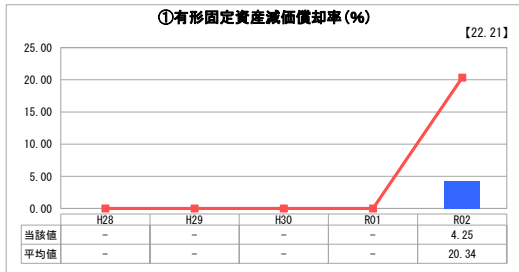
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,274	197.79	173.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
297	1.10	270.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の一部を適用した。
 ①経常収支比率は、単年度収支が100%を超えており、一定程度の健全性を確保している。
 ②累積欠損金比率は、類似団体平均を下回る121.19%であった。「1年以上で現金化できる資産」で「1年以上以内に支払う負債」を賄えていないということを表すため、支払能力を高めるための経営改善を図る必要がある。
 ③流動比率は、類似団体平均を下回る17.65%であった。「1年以上で現金化できる資産」で「1年以上以内に支払う負債」を賄えていないということを表すため、支払能力を高めるための経営改善を図る必要がある。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っている。現状分析を行い、維持管理費の削減や有収水量を増加させる取り組み等の改善が必要である。
 ⑤使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えるかを表した指標である経費回収率は、100%以上であることが必要のところ、当市では類似団体を下回る50.43%であった。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。
 ⑥汚水処理原価は類似団体平均を上回っている。現状分析を行い、維持管理費の削減や有収水量を増加させる取り組み等の改善が必要である。
 ⑦区域内人口に対する水洗便所設置済人口を表す水洗化率は、類似団体平均を下回る59.26%であった。水洗化率向上に努めていく予定である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、平均より数値が低いものの、供用開始から20年が経過しようとしているものもある。今後は、優先順位の高い資産から順に管渠施設の更新を進める必要が出てくる。

全体総括

当市の農業集落排水事業については、下水道事業と同様、公営企業会計の一部適用後初の決算となった。今後は大幅な使用料収入の増額は見込めないことから、施設の老朽化に対応可能な経営の効率化と健全化が求められる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。